

駒澤書翰



創刊号

発行日：
2023年2月1日
発行所：
株式会社エヌワイケー
〒154-0012
東京都世田谷区駒沢5-7-6
電話：
03-3704-8391
FAX：
03-3703-7121
発行人：
横山和俊

ご挨拶

向春の候、皆様におかれましては益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。日頃は弊社取扱い各紙を「愛読いただき誠にありがとうございます」とございませぬ。本日2月1日付で駒沢販売所責任者となりました所長の横山和俊と申します。使命感をもって皆様に新聞をお届けしてまいります。前任同様引き続きのご愛顧賜りますようお願い申し上げます。また、毎月第3日曜日にごこの様な形で「駒沢書簡」を制作し折込する予定です。毎朝皆様のお宅の軒先までお伺いはしていますが、お会いする機会はございません。そんな皆様と私たちとの関係ですが、この「駒沢書簡」を通じて少しでも距離を縮めることができれば幸いです。

さて、初回となります今号は赴任初日ではありますが駒沢店の紹介と、私の自己紹介をいたします。店舗は駒沢公園住宅展示場の裏、駒沢5丁目にあります。配達担当エリアは、世田谷区駒沢全域、深沢全域、桜新町全域、新町1〜2丁目、目黒区野沢4丁目、上馬3丁目、柿の木坂3丁目、東が丘全域となります。こちらを毎朝8名のスタッフで配達しています。なお、メインの取扱い紙は「日本経済新聞」と「毎日新聞」になります。毎日新聞はエリアが限定されています。

私こと横山和俊は昭和50年生まれ、みずがめ座のB型、高校生の長男を筆頭に中学生の長女、小学生の次女と妻の5人家族です。新聞販売に携わり早20数年。店主歴は石川県金沢市に始まり直近までは大田区の馬込店を経営していました。趣味はと申しますと、読書に映画鑑賞、高校生の時分からやっているアコースティックギター、北海道もツーリングに行ったモーターサイクル、ルアーに餌、海に川にと釣りなど多趣味な私ですが、ここ数年は子育てに忙しくほとんど何もできていません。いや、むしろここ数年は子育てが趣味でした。子ども達とのキャンプやクラブ活動の応援など今振り返れば子ども達との時間は二度と返ってこない大切な時間でした。今春、次女が小学校を卒業します。うえの二人も小学生までが密な時間でした。それを思うと寂しくなりますが、私たち夫婦の子育ても次のステージに入るのかも知れません。そんな中でも最近も楽しめていたのは読書と映画鑑賞です。読書はミステリーから恋愛小説、歴史モノまでジャンルを問いません。昨年から日経新聞夕刊で連載が始まった宮城谷昌光氏の「諸葛亮」は欠かさず切り抜きしています。なぜ「読んでいる」ではなく「切り抜き」なのか。三國志は大好きな小説です。吉川英治氏に北方謙三氏とどちらの作品もドキドキしながら読みました。筆者が違つと登場人物の個性も変わり読み比べも楽しめました。連載を機に宮城谷昌光氏の三國志も読み始めたのですが、連載小説とストーリーが混同しどちらも頭に入ってこなくなってしまうました。という訳でまずは「三國志」を読み終え改めて「諸葛亮」を読み直そうと決めました。しかし、ここ最近読書の時間があまりとれず、いまだに「三國志」を読み終えていません。どこかでまとめて時間をとらねばと思う今日この頃です。また、映画に関しては馬込店の近くに映画館があったこともあり仕事終わりのレイトショーはよく観に行っていました。直近では二宮和也さんが主人公を演じた「ラーゲリより愛を込めて」が感動しました。ご覧になられた方もいらっしゃるかと思いますが、シベリア抑留の実態を描いた実話にもとづく映画です。予備知識なく観た作品でしたが、ラストは涙が止まらず、静かな映画館で鼻をすする音をださないようするのが大変でした。鑑賞後はシベリア抑留にも興味を持ちました。60万人にもおよぶ日本人がソ連に拉致抑留され最長で11年もの間強制労働を強いられたシベリア抑留。今では1945年8月9日〜9月2日は「日ソ戦争」とも呼ばれすこしずつですが史実が解明されています。今後、記事等で見かけることがあればしっかり読んでおこうと思います。最近では倍速視聴などと呼ばれ、ドラマなどの映像コンテンツを早送りで見ると観る若者の記事を目にします。たしかに

ストーリーを手っ取り早く知るには理にかなってゐる気がします。しかし、映画館での映画鑑賞は映画本来の良さを知ることができると言われています。それは大画面での映像や高性能な音響設備だけの問題ではありません。スマートフォンやタブレットでは直接光る画面を見ていますが、映画館ではスクリーンに反射された映像を見えています。反射光で脳に入ってきた情報はより正確に理解できるといわれ、スクリーンに映し出された映像を見た私たちはより深く映画を理解しこころなる感動を味わえるのです。大げさではありませんが、毎回、私は映画館を後にする時は深い感動に包まれています。実はこの原理、新聞も同じなのです。スマートフォンやタブレットと違い紙の新聞を読むとどういふか、スクリーンに映し出された映像と同いふ反射光で情報を取っていることとなります。例えば、書類の校正をする際、タブレットやモニターでするよりもプリントアウトをして紙ベースで確認した方が間違いを見つけやすいのと同じ理屈です。皆様もぜひこの違いを知っていただろう。やはり新聞は紙で読んだ方がいふことです。この新聞の良さをお伝えしたところで私の自己紹介を終えます。随時弊社スタッフも紹介していきます。楽しみにしていてください。



所長の横江です。よろしくお願ひします。

販売店よりお知らせ

新聞整理袋の有料化について

経済産業省のシジ袋有料化の指導により新聞整理袋は有料となります。50枚入りのシート550円にて販売しています。なお読み終えた古新聞の回収処分も行っております。1枚単位でもございましたら弊社までご連絡ください。

購読料のお支払い方法について

新型コロナウイルス感染症拡大防止並びに防犯の観点から、対面での購読料のお支払いは受付していません。現在対面にて購読料をお支払いいただいているお客様は以下の方法へ変更をお願いいたします。**クレジット決済・口座振替・コンビニエンスストアでの払込**。なお詳細は今月の「集金」にて説明いたします。

編集後記

最後までお付き合いありがとうございます。馬込店勤務時代は「馬込だより」と題して毎月ミニコミを折込みしており、その中の「メンテナンスのーして」所長の大田区散歩」というコーナーを作っていました。大田区は縁もゆかりも無い土地で、全てが新鮮でしたので私が興味をもったスポットやおもしろかったお店を紹介していました。ロコミで知ったり、お客様に教えていただいたりときっかけは色々でしたが、大田区産業振興協会が発行する小冊子「OTAおおたいちおしグルメ」を参考にすることが多かったです。今回、駒沢店に異動するにあたりお世話になった馬込店のメンバーと送別会をかねてOTAいちおしグルメにて紹介されていたジジスカンの専門店「呑蒲どんかま」に行ってきました。大田区は京急蒲田駅のそばにあるその店は、店主がお一人で営まれていて、3組も入れば満席になるようなごんかまの店でした。私は本格的なジジスカンを食するのは初めてでしたが、メンバーに北海道出身者もいて食べ方の説明やら専用のたれの話題などもあり、とても楽しい時間でした。お肉はと申しますと、北海道直送の新鮮でクセのないラム肉を中心にマトンや熟成肉もあり初めての私でもとてもおいしく食べられました。大田区を離れてしまったので再訪するチャンスは少ないと思いますがまた行きたいお店のひとつです。これからは世田谷区でいろいろお店を探そうと思つて、とてもワクワクしています。